

学習指導要領		都立稔ヶ丘高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>話題を理解し、論理的に話すこと、聞くことができる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読解学習などにおいて、自分の解答の理由を説明できる。また、その根拠を具体的に教材文中に指摘できる。 ・自分の考えを検討し、改善するために、他の生徒や教員の意見を参考にできる。 <p>何のために話すのか、目的や場を理解して話せる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の質問や発表において、問われている形式に即して発言、発表できる。 <p>その場の状況にふさわしい態度で話が聞ける。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の教員や他の生徒の話を、興味・関心ある態度で注意深く聞き続けることができる。 <p>課題解決のために、他人の意見を尊重して話し合うことができる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の課題に向けた討論の中で、自分と異なる意見にも耳を傾ける態度を持てる。 ・グループの話し合いなどで、全体の進行を意識して参加できる。 <p>自分の発表のしかたや話し合いのしかたについて、振り返り、改善目標を持てる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表や話し合いの後の感想で、そのやり方について振り返り、「次はこうしたい」などの改善目標をことばにできる。

学習指導要領		都立稔ヶ丘高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	<p>目的に応じて、ふさわしい言葉や文体を選んで書くことができる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅課題として、感想や要約等の設定課題で文章を書くことができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	<p>論理的な文章を書くために、根拠や理由を入れて書くことができる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「評論」の単元において、主題を理解し、それらへの賛否を、根拠を挙げて書くことができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	<p>描写と説明の違いを理解し、使い分けて書くことができる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章において、登場人物の心理状態を場面に即して描写したり、客観的な描写から分析的に説明したりして書き分けができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<p>優れた文学作品の効果を考察し説明できる。</p> <p><具体的な設定例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章の鑑賞文を書く学習において、優れた表現の効果を考察し、説明できる。
	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<p>【現代文・文学的文章】</p> <p>文章の形態（小説・評論・韻文など）や表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <p><具体的な設定例></p> <p>『羅生門』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説の表現や文章の形態（小説・評論など）や表現の特色を意識しながら読むことができる。 ・小説の表現やリズムを、音読を通して感じることができる。

学習指導要領	都立稔ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p>	<p>・他者の場面理解や心情理解を受け止めて、それが文中の表現に即して適切かどうかを吟味したり、自分の読みを深めるために役立てたりできる。</p> <p>古文 『宇治拾遺物語』『伊勢物語』</p> <p>・話の流れをつかみ、登場人物の心情を理解することができる。</p> <p>・話のおもしろさに気づくことができる。</p> <p>【現代文】 論理的文章の内容を構造的に理解し、書き手の主張を的確にとらえることができる。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <p>・新聞投書、社説等の文章において、事実と意見を区別して読み、それらの関係から主題文を指摘できる。</p> <p>読書に親しみ、読む本の範囲が広がる。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <p>・図書館ガイダンスの授業によって読書意欲が高まり、学校図書館の貸し出しを利用したり、自発学習に活用したりできる。</p> <p>古文・漢文を読むことをおもしろいと感じ、伝統的な言語文化への興味・関心を持ち続ける。</p> <p>漢字・漢文の学習を通じて、大陸文化の影響に気づくことができる。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <p>・説話、物語、随筆などの古典作品を音読などで楽しみ、その時代に親しみと関心を持つ。</p> <p>・格言等の漢文を読み、音読のリズムなどを楽しむことができる。</p> <p>・古文・漢文の学習を通じて、日本の文化が、中国の文化に学びながら、独自に発展してきたことを理解できる。</p> <p>・漢字の成り立ちと音読み・訓読み、熟語の構造等の学習を通じて、日本人が異文化である漢字を使いこなし、自分たちのものにしてきた過程を理解でき</p>

学習指導要領	都立稔ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>る。</p> <p>歴史的仮名遣いについて理解し、適切に読むことができる。 活用語は語尾変化するという事実を理解している。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の古文作品を正しく音読でき、未習の古文作品でも、歴史的仮名遣いをほぼ正しく音読できる。 ・活用語は語尾変化するという事実を理解し、文中の活用語を終止形で示されたとき、同一の語であることが理解できる。 <p>漢文訓読のきまりを理解し、適切に読むことができる。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点のきまりを理解して適切に音読し、書き下し文にできる。 ・置き字や否定（不・無など）、再読文字（未・将など）を理解して適切に音読し、書き下し文にできる。 <p>【現代文】</p> <p>語句の成り立ちや構造、表現の特色等に関心を持ち、豊かな言語感覚を養う。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の主語・述語や修飾、被修飾の関係などを理解し、ことばを分析的に見ることができる。 ・和語、漢語、外来語の違いを意識することができる。 ・言語の主要な機能（認識、伝達、思考、想像など）を理解し、意識して使用しようとすることができる。 <p>【現代文】</p> <p>論理的文章の構造を理解して読むことができる。</p> <p>〈具体的な設定例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞投書、社説等の文章において、事実と意見を区別して、組み立てを理解し、主題文を指摘できる。 <p>【古典】</p>

学習指導要領		都立稔ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>漢語の意味を構造的に理解できる。 <具体的な設定例> ・現在日常的に使われている漢字熟語の文法構造を理解し、漢文訓読のように読むことができる。(美声→美しき声、登山→山に登る、不当→当たらず)</p> <p>常用漢字の大体は読め、漢字検定三級レベルまでの常用漢字を書くことができる。 漢字の成り立ちについて理解し、その知識を活用できる。</p> <p><具体的な設定例> ・漢字検定三級ないし準二級まで段階的に設定した毎週の漢字テストにおいて、平均六割以上得点できる。</p>